



2.2

5歳未満の子供の発育障害や消耗性疾患について国際的に合意されたターゲットを2025年までに達成するなど、2030年までにあらゆる形態の栄養不良を解消し、若年女子、妊婦・授乳婦及び高齢者の栄養ニーズへの対処を行う。

歯科用レーザーを用いた虫歯の治療と 修復材料に関する研究

MID (Minimal Intervention Dentistry) は「最小限の侵襲による修復治療」です。「削って埋める」治療から、治療介入を必要最小限とし、歯を削る量も必要最小限にする、「歯質と歯髄の保存」を重視した治療です。

特に、う蝕治療や知覚過敏に応用するレーザーについて研究しています。歯の喪失は栄養の摂取に直接的に影響します。う蝕による歯の喪失を防ぐ上で、歯科材料の発展・研究が必要であり、修復材料の接着性に関する研究は二次う蝕や修復材料の脱落による再治療を減少させることができると考えます。



message

う蝕に対する治療は、まず早期発見とリスク・活動性の評価を行い、歯質の再石灰化を促し、必要な場合に切削介入へと移行します。それぞれの過程において、特性を活かした各種歯科用レーザーの効果的な使用により、全ての人の歯の寿命に貢献できればと考えております。

保尾 謙三

歯学部

歯科保存学講座